

酪農宮崎

令和8年 3月31日 印刷
令和8年 4月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.653
2026年4月



九州酪農青年女性酪農発表大会

4月号目次

情勢報告	1
西諸地域ブラックアンドホワイトショウ	2(上)
都城スプリングショウ	2(下)
九州酪農青年女性酪農発表大会	3
九州ミルク料理コンクール	4
ツマジロクサヨトウマニュアル	5~6
配合飼料価格改定	7
戸数頭数調査	8

ナンノ教授のヒトリゴト	9
全酪広告	10
全農広告	裏表紙



MILK UP!
プロジェクト



JAみやざきHP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和8年3月13日現在

指定団体	2月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	309,408	99.2	3,650,528	101.2
東北	34,123	95.5	407,480	99.1
関東	79,844	98.5	922,899	100.0
北陸	4,706	93.4	56,523	97.0
東海	22,601	99.8	258,016	99.5
近畿	10,423	96.0	121,570	98.1
中国	22,520	99.5	258,228	99.4
四国	7,962	101.7	90,969	100.6
九州	43,012	100.9	482,647	99.3
(内、宮崎)	5,179	97.2	59,533	98.3
都府県	225,190	98.6	2,598,332	99.5
合計	534,599	99.0	6,248,860	100.5

2. 販売状況

令和8年3月13日現在

用途	区分	2月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	216,800	96.9	2,644,644	98.6
	九州	28,994	97.9	335,108	98.9
はっ酵乳等	全国	31,216	99.7	379,614	98.4
	九州	6,327	103.7	77,345	98.7
特定乳製品	全国	153,895	101.1	1,657,321	104.4
	九州	5,816	117.7	45,718	103.4
生クリーム	全国	98,977	99.4	1,173,693	99.6
	九州	1,848	98.8	23,575	100.2
チーズ	全国	33,711	100.8	393,586	102.2
	九州	27	29.1	900	87.5
合計	全国	534,599	99.0	6,248,858	100.5
	九州	43,012	100.9	482,646	99.3

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 2月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	5戸
80 t 以上 ~ 100 t 未満	1戸
60 t 以上 ~ 80 t 未満	7戸
40 t 以上 ~ 60 t 未満	30戸
20 t 以上 ~ 40 t 未満	53戸
10 t 以上 ~ 20 t 未満	42戸
10 t 未満	18戸
合計	156戸
最高出荷量	414t/月
平均出荷量	33t/月

4. トピックス

3年間、大変お世話になりました。

春光うらかな季節を迎え、お健やかに過ごしのことと存じます。去る、3月11日に九州酪農青年女性会議主催による「第53回九州酪農青年女性酪農発表大会」が本県宮崎市で開催され、九州管内より経営の部2名、意見体験の部2名の計4名の方が出場され、経営の部において、都市の(株)福留牧場代表、福留寛行様が「リフレッシュしながら黒字経営を目指す」と題し、発表され最優秀賞を受賞いたしました。7月に沖縄県で開催される「第53回全国酪農青年女性酪農発表大会」に九州代表として出場いたしますので、多くの方々のご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。また、3月22日に九州ホルスタイン改良協議会主催による「第22回オール九州ブラックアンドホワイトショウ」が一昨年振りに熊本県家畜市場で盛会に開催され、九州地域より選りすぐりの乳牛151頭が出品されました。本県より44頭が出品され、17頭が入賞し、4頭が名誉賞首席に選ばれ、好成績でありました。特に第8部(30ヶ月未満)にえびの市の前原直希様出品の「サクランド ハズイット ロエヴエ ET」号が最高賞のグランドチャンピオン賞に輝きました。前回大会の第20回同大会にて宮崎県乳牛改良同志会の今山陽一会長の出品牛獲得以来の快挙となりました。

令和8年度の生乳需給安定化対策の基本的な考え方がまとまり、生乳の飲用需要は、ほぼ昨年度並みで推移する見通しではありますが、予測以上の需要減退や地域的・季節的なアンバランスが生じ、需要減退や地域的な需要逼迫も想定されます。乳製品は、脱脂粉乳の需要は引き続き低調で在庫対策を講じなければ年度内在庫量が増加する見込みとなっており、令和7年度より実施している酪農乳業需給変動対策特別事業を継続して実施することとなりました。本事業について、Jミルクにおいて在庫削減対策に要する基金規模のあり方について検討が行われており、今後、抛出単価(現行0.15円/kg)が変更になる可能性があります。国内経済や生乳需給の見通しが不透明であることを踏まえ、単年度の需給安定化対策を実施することとなりました。更には出口対策として、需要拡大・理解醸成活動のため、農林水産省が立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」の下で酪農業界一体となった需要拡大に取り組むこととしております。

さて、私事で大変恐縮ですが、令和8年4月1日付けの人事異動で酪農課長の任を解かれ、肉用牛部肥育牛課長を拝命いたしました。皆様には在任中の3年間、ご厚情とご高配を賜り、大変お世話になりました。これからも本県畜産振興のため努めてまいります。誠にありがとうございました。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

第24回宮崎県西諸B&Wショー開催

西諸地域で乳牛の質を競う共進会(西諸県郡市乳用牛改良同志会主催)が2月20日(金)、小林地域家畜市場で開催された。7部門に分けられ西諸管内及び熊本県球磨地域より合計32頭が出品されました。

審査員には、宮崎県乳用牛改良同志会会長の今山陽一さんが厳正なる審査を行い、グランドチャンピオンに高原町 清水豊さん出品の『SWF エボマーレン ピークジャガー』が2年連続のグランドチャンピオン受賞となりました。

同ショーでは、郡外の酪農家や後継者との同志の親睦・交流などもあり、非常に充実した共進会となりました。結果の詳細については以下の通りです。

部類	序列	出品番号	本牛名号	産地	生年月日	出品者
1類	1	103	SWF スリーエム ミルン エムレム サイド K	高原町	R7.5.22	清水 豊
2類	1	207	SH774 ハーゲン サイド ロイヤル イ ET	高原町	R7.1.17	(同)石山牧場
3類	1	306	KM アリゲーター ナイスレディ ET	熊本県球磨郡	R6.8.24	(株)有田牧場
4類	1	401	KM ジャガーローズ エルナ	熊本県球磨郡	R6.8.17	(株)有田牧場
5類	1(BU)	501	SKリバー サマーフェスト エース	えびの市	R5.11.26	川原 澄広
6類	1(BU)	602	SWF エボマーレン ピークジャガー	高原町	R4.10.22	清水 豊
7類	1(BU)	701	トップグリーンハッピー ライブ チーフ	小林市	R4.2.2	温水 聖

ジュニア
チャンピオン

グランド
チャンピオン

※(BU)…ベストアダー賞



第13回都城スプリングショー

第13回都城スプリングショーが令和8年2月28日に都城家畜市場にて開催されました。

管内の酪農家が手塩にかけて育て上げた精鋭46頭が集結し、その美しさと資質を競い合いました。

厳正なる審査の結果、最高賞であるグランドチャンピオンには田中賢志郎氏出品の「SFT HF ラムダ ヘルブ ET」が輝きました。またジュニアチャンピオンには榎木敦史氏出品の「ネトルリード ック ショクタム605」が選ばれ次世代を担う乳牛たちの質の高さも光る大会となりました。

【審査結果】

部類	優等首席	名号	出品者
第1類	103	TKO フォーエーベル GC チーフ ヨーヨー	川野 洋平
第2類	205	SFT MRC アクションマン フェニックス	田中賢志郎
第3類	306	ネトルリード ック ショクタム 605	榎木 敦史
第4類	404	TONO ウィットニール	都城農業高校
第5類	501	STF P サイドキック キャンペー	STFシンジケート(徳留一也)
第6類	608	SFT HF ラムダ ヘルブ ET	田中賢志郎
第7類	703	LYUS マーシー エルナ	川野 大輔



集合写真

区分	No.	名号	出品者	
グランドチャンピオン	608	SFT HF ラムダ ヘルブ ET	田中賢志郎	
リザーブグランドチャンピオン	501	STF P サイドキック キャンペー	徳留 一也	
ジュニアチャンピオン	306	ネトルリード ック ショクタム 605	榎木 敦史	
リザーブジュニアチャンピオン	205	SFT MRC アクションマン フェニックス	田中賢志郎	
乳器賞	第5類	501	STF P サイドキック キャンペー	STFシンジケート(徳留一也)
	第6類	608	SFT HF ラムダ ヘルブ ET	田中賢志郎
	第7類	703	LYUS マーシー エルナ	川野 大輔



グランドチャンピオン(田中賢志郎氏)

第53回 九州酪農青年女性酪農発表大会 福留寛行さんが最優秀賞を受賞！

JAみやざき 酪農課 伊豆元 真由子

3月11日(水)、宮崎市の「ニューウェルシティ宮崎」にて、第53回 九州酪農青年女性酪農発表大会が開催されました。九州各県より選出された、経営発表の部2名、意見・体験発表の部2名が、経営状況や活動内容・将来の酪農経営などについて熱い思いを発表されました。

開会にあたり、九州酪農青年女性会議の中村俊介委員長より、「厳しい酪農情勢の中ではあるが、本大会を通じて学びと交流を深め、今後の経営に生かしてほしい。」と挨拶がありました。

酪農経営発表の部では、宮崎県代表の福留寛行さん(都城地区本部)が、「リフレッシュしながら黒字経営を目指す」というテーマで発表を行いました。

経営発表の部の審査講評では、「両者ともに日々の経営や取り組みを具体的に示した内容であり、今後の酪農経営を考える上で、大変参考となる発表であった。」と評価されました。その中で、「飼料自給の活用やコスト管理に加え、地域との連携を図りながら収益性の高い安定した酪農経営を実現している点」が高く評価され、福留さんが最優秀賞に選出されました。

福留さんは、九州代表として、7月9日(木)～10日(金)沖縄県那覇市で開催される第53回 全国酪農青年女性酪農発表大会に出場されます。

福留さんの全国大会での活躍が期待されます。

【経営発表の部】

- 1. 『地域に根差した足腰の強い酪農経営を目指して
～見える化・省力化・自給飼料で赤字経営からの脱却～』 江藤 健太郎氏(福岡県)
- 2. 『リフレッシュしながら黒字経営を目指す』 福留 寛行氏(宮崎県) ★最優秀賞



【意見・体験発表の部】

- 1. 『家族の絆～動き出した私たちの酪農経営～』 横山 さとみ氏(鹿児島県) ★最優秀賞
- 2. 『牛に魅かれて』 溝田 大典氏(長崎県)



令和7年度九州ミルク料理コンクール開催

2月21日(土)、九州生乳販売農業協同組合連合会主催「令和7年度九州ミルク料理コンクール」が福岡県で開催されました。

この料理コンクールは牛乳・乳製品について、より正しい知識の普及と牛乳・乳製品料理への動機付け・定着化を図り、牛乳・乳製品の消費拡大に資することを目的に、今年で3回目となります。今年も、各県推薦枠を設け「ごはん・おかず部門」「デザート部門」にマナビヤ宮崎アカデミーが実施している牛乳・乳製品料理コンクールの最優秀賞者を推薦しました。また、一般応募枠の二次審査をJAみやざきにて行い、各部門合計2名ずつ本県より出場しました。

審査後、「ごはん・おかず部門」は佐藤 彩華さん(JAみやざき職員)の【ふわふわミルクの和風カレースープ】「スイーツ部門」は松山 莉緒さん(マナビヤ宮崎アカデミー)の【トロピカルブロッサムパフェ】がそれぞれ見事3位入賞となりました！！

☆ごはん・おかず部門☆



佐藤 彩華さん
【ふわふわミルクの和風カレースープ】

山内 陽愛さん(マナビヤ宮崎アカデミー)
【ふわふわミルクテリーヌ】

☆スイーツ部門☆



松山 莉緒さん(マナビヤ宮崎アカデミー)
【トロピカルブロッサムパフェ】

五味 桜彩さん(宮崎県立高鍋高等学校)
【焼きプリンタルト】

ツマジロクサヨトウ防除マニュアルのご紹介

畜産試験場酪農飼料部

ツマジロクサヨトウは2019年に国内で確認され、飼料用トウモロコシ、ソルガムで発生が確認されています。食欲旺盛で特に飼料用トウモロコシを好んで食べ、食害による収量低下が懸念されます。

ツマジロクサヨトウは、春先に温暖な海外から飛来し、夏以降被害が拡大します。

例年、4～5月に飛来を確認しており、畜産試験場では、昨シーズン5月23日に初確認されています。

食害の様子と幼虫のサイズは以下のとおりです。



(2025年5月23日撮影)

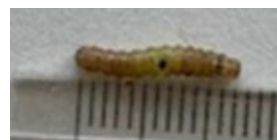
・1齢～2齢幼虫

植物体の芯に潜り、葉の表面を削るように食害します。葉が展開すると食害が目立つため、食害が見られたタイミングでの防除が効果的です。



・3齢～4齢幼虫

幼虫が成長し、葉に穴を開けるようになります。4齢以上に成長すると殺虫剤が効きづらいため見つけ次第すぐに防除しなければなりません。



・5齢～6齢幼虫

幼虫が成長し、食害痕がさらに大きくなります。この大きさになると、殺虫剤の効果が低くなってしまいます。



これまでに畜産試験場が共同研究に参加し、発行された防除マニュアルをご紹介します。

ツマジロクサヨトウの生態や、防除方法について詳細に記載されていますので参考にしてください。

記載の二次元バーコードからPDFで読み取ることができます。



飼料用とうもろこしにおける ツマジロクサヨトウ防除マニュアル

農業・食品産業技術総合研究機構(NARO)

ツマジロクサヨトウの飛来に関するモニタリング、同定、飛来予測の各技術、および飛来が多い西日本で栽培面積が広い飼料用トウモロコシを対象とした防除法をについて解説しています。



https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/shiryoyo_tomorokoshi_tsumajirokusayoto_bojo_manual.pdf



ツマジロクサヨトウ防除対策マニュアル

宮崎大学

ツマジロクサヨトウの発生状況や被害実態、防除法について解説。

また、飼料用トウモロコシの早期収穫時の留意点などが掲載されています。

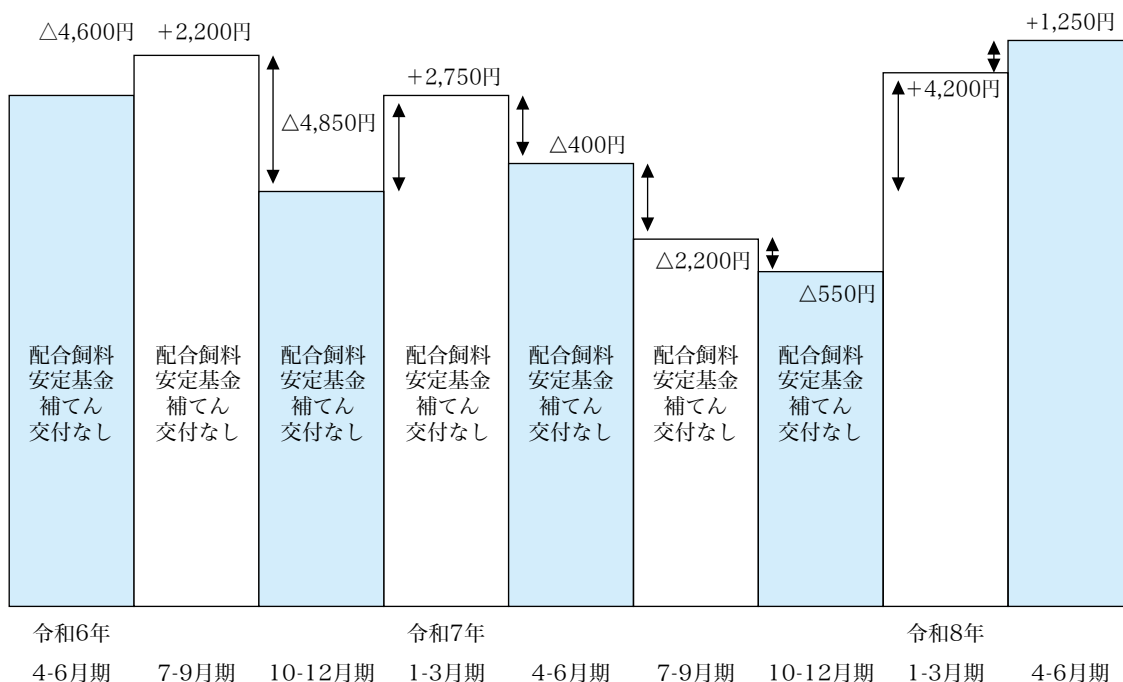


<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ags/bunner/4204504182b7799c2a3b93e62839580f24c31512.pdf>

ツマジロクサヨトウの生態を把握し、的確な防除を行うことで、飼料の収量確保につとめましょう。

(お問い合わせ：畜産試験場酪農飼料部 0984-42-4837)

配合飼料価格改定の推移について(令和8年4~6月期)



1. 主要因

①とうもろこしのシカゴ定期は、12月には440セント/ブッシェル前後で推移していたが、1月12日米国農務省発表の需給見通しで米国産とうもろこしの生産量が市場予想を上回ったことなどから、420セント/ブッシェル台まで下落した。その後、米国産とうもろこしの輸出需要が好調であることや中東情勢の緊迫化を受けて堅調に推移し、現在は460セント/ブッシェル台となっている。なお、シカゴ定期に加算される内陸産地からの集荷コストなどは、米国産とうもろこしの輸出需要が好調に推移していることや米国の寒波による物流の混乱などから上昇している。

今後は、南米産の作柄や米国産新穀の作付動向などに左右される相場展開が見込まれる。

②大豆粕のシカゴ定期は、12月には330ドル/トン前後で推移していたが、1月12日米国農務省発表の需給見通しで米国産大豆の生産量が市場予想を上回ったことや南米産大豆の豊作期待などから、1月中旬には320ドル/トン前後まで下落した。その後、2月上旬には中国が米国産大豆を追加購入するとの期待感や中東情勢の緊迫化を受けて相場は上昇し、現在は340ドル/トン台後半で推移している。

国内大豆粕価格は、為替円安やシカゴ定期の上昇などから値上がりが見込まれる。

2. 海上運賃

米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、11月には54ドル/トン前後で推移していたが、南米産大豆の端境期を迎え船腹需給が緩和したことなどから、1月上旬には46ドル/トン台まで下落した。その後、原油相場が上昇していることなどから反転し、現在は63ドル/トン前後で推移している。

今後は、中東情勢の緊迫化を受けて原油相場が高騰していることや、南米産の新穀大豆の輸送が本格化することなどから、海上運賃は堅調に推移することが見込まれる。

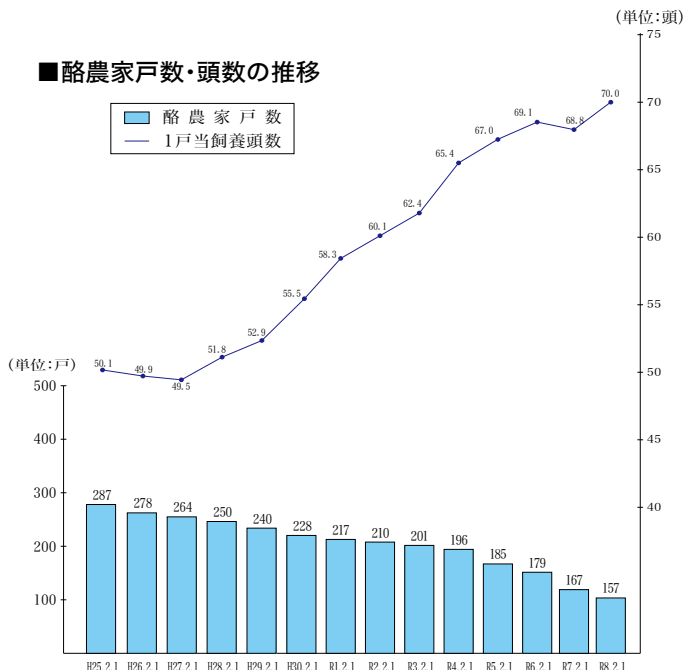
全国全畜種総平均(全農系)トン当たり1,250円値上げとし、銘柄別に決定する。

酪農家戸数・頭数調査(令和8年2月1日現在)

酪農家戸数157戸

令和8年2月1日現在の酪農家戸数は、157戸(前年比94.0%)、乳牛総頭数は10,992頭(前年比95.6%)、経産牛頭数は7,818頭(前年比95.0%)となっています。1戸当たり総頭数は70.0頭で前年より1.2頭増加しています。

年間で酪農家の廃業が7戸ありました。酪農廃業の主な理由は、高齢による廃業が2戸、労働力不足1戸、経営不振が1戸、和牛移行が1戸、死別1戸、その他1戸でした。



酪農家戸数頭数調査

(令和8年2月1日)(単位: 頭)

項目 農協名	酪農家 戸数	乳牛 総頭数	一戸当 総頭数	経産牛 頭数	一戸当 経産頭数	搾乳牛 頭数	乾乳牛 頭数	初妊牛 頭数	育成牛 頭数
こばやし	28	1,563	55.8	1,016	36.3	892	124	151	396
えびの市	9	605	67.2	404	44.9	358	46	51	150
計	37	2,168	58.6	1,420	38.4	1,250	170	202	546
都城	67	4,497	67.1	3,237	48.3	2,848	389	349	911
南部酪	15	840	56.0	635	42.3	566	69	69	136
計	82	5,337	65.1	3,872	47.2	3,414	458	418	1,047
尾鈴	10	734	73.4	541	54.1	447	94	57	136
児湯	7	917	131.0	573	81.9	537	36	62	282
西都	6	798	133.0	729	121.5	629	100	32	37
宮崎中央	2	406	203.0	258	129.0	223	35	46	102
延岡	2	49	24.5	46	23.0	36	10	3	0
計	27	2,904	107.6	2,147	79.5	1,872	275	200	557
串間酪	11	583	53.0	379	34.5	333	46	57	147
総計	157	10,992	70.0	7,818	49.8	6,869	949	877	2,297
令和6年2月1日	167	11,493	68.8	8,226	49.3	7,267	959	1,055	2,212
増減	▲10	▲501	1.2	▲408	0.5	▲398	▲10	▲178	85
前年比	94.0%	95.6%	101.7%	95.0%	101.1%	94.5%	99.0%	83.1%	103.8%

農学部 ナンノ教授のひとりごと

大学にも春が来た！

南野 快

新年度が始まる4月は季節も春、大学教員も新生を迎えてフレッシュな気持ちになる。M大学の今年の入学式は4月3日、新生オリエンテーションが4月6日に予定されている。私が所属する獣医学科では毎年、新生に対して学科教員が一人ずつ自分の研究室の紹介をする。新生の大多数は県外者、過半数は犬や猫などの小動物(伴侶動物)の獣医師を目指して入学してくるが、大動物(産業動物)関係の研究室の所属である私は、いかにして彼女ら、彼らを牛や豚の世界に導くことができるかに力を注ぐ。獣医棟1階の教室が学科オリエンテーションの会場だ。そばには牛舎があり、運が良ければ(?)牛の鳴き声が教室からも聞こえてくる。そして私は1年生に語りかける、「この大学ほど産業動物の勉強に適した場所はない」と。もちろん、入学時に伴侶動物の獣医師を想定していても確固たる卒業後の進路を決めている学生はそれほど多くなく、動物全般に対して興味を持っている者がほとんどである。そのような、まっさらな心の18歳から20数歳(中には30代、40代、まれに50代の新生もいるが)のフレッシュな学生を良い意味で”洗脳“するのが私に課せられた使命である。

M大学キャンパスでは、数頭の牛たちがパドックでゆったりと過ごしている姿が通学路から見える。すると”純真“な1年生は目を輝かせて牛達に興味を示してくれる。この気持ちをいつまでも大切にしたいと願っている。実際、その後の数年をM大学で過ごすうちに自然と自分の進路の候補の1つとして産業動物獣医師が入ってくるという学生も少なからずいて、3年生の牧場実習、4年生の(私も担当している)産業動物臨床繁殖学実習、そして5年生後期の産業動物参加型臨床実習を通して、産業動物獣医師の仕事の面白さを実感してくれる。5年生後期と

いえば、ちょうどそろそろ就活を考える時期であり、タイミング的にはバッチリだ。もちろん、良い面ばかりをアピールするのではなく、大変な面もきちんと伝えておく必要がある。その上で、その大変な部分を単に苦しいことと認識させるのではなく、いかにして”やりがい“として訴えるかが重要である。

個体と共に牛群を診る、農場全体を診ることで地域に貢献できる仕事の大切さ、そして職場の同僚や農場の生産者をはじめとする関係者がチームとなって同じ目標に向かって仕事をすることの楽しさを一人でも多くの学生に知ってもらうべく、私は学生達とのコミュニケーションに喜びを感じながら新年度のオリエンテーションを迎える。そして、6年間を共に過ごすクラスメートと友情を育みながら、一度しかない自分だけの人生の貴重な一章を作ってほしい。



写真 M大学附属牧場の放牧地にて、奥の方でゆったりと草を食む多くのハードメイトとは対照的に、興味津々で寄ってきてポーズをとる目立ちたがり屋(?)のジャージーさん。

全酪連初生牛預託事業のご案内

- ・「仕事が多すぎて、子牛の面倒を十分に見てあげられないんだよねあ..」
- ・「子牛の病気や治療が多くて困っているんだよねあ..」

こんな悩みをお持ちの酪農家の皆さん、全酪連の初生牛預託事業を利用してみませんか？



全酪連若齢預託熊本牧場（菊池市泗水町）

～牧場風景～



【預託事業に関するお問い合わせは】
全酪連 福岡支所 畜産課 まで
092-431-3447
お気軽にご相談ください。

【全酪連初生牛預託事業とは？】

皆様の乳用種初生牛(雌牛)を概ね生後4日齢～1カ月齢でお預かりし、
全酪連若齢預託熊本牧場にて6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。

※対象牛は、健康な乳用種初生牛(雌牛)です。

(肺炎、下痢等の疾病等のある子牛はお預かりできません。)

※哺育期間は、全酪連「強化」哺育・育成体系で管理いたします。



代用乳製品

生まれた子牛は強化哺育®にお任せください!!

ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用



全酪連は2005年1月に搾乳後産乳牛のための「強化哺育®・育成体系」を発表、強化哺育®用代用乳「カー トップ EX」を供給してまいりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳量増加などの好結果に絶大なご支持を賜ってまいりました。全酪連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い（「標準体系」vs「強化哺育®」）を比較するための飼養試験を1998年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産分娩月齢は22.3ヶ月でほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区が596.2kgで+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kgで標準より+822kgという結果でした。

和牛・F1子牛 強化哺育®代用乳



強化哺育®の効果と和牛子牛やF1子牛に応用するために「カー トップ EX ブラック」を開発、2007年夏より供給開始し、全国の肉用系牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用系牛においても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。「カー トップ EX ブラック」は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。



全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら

代用乳・配合飼料・添加物・酪農・畜産機材類 掲載

地域によって、取扱がない製品もございます。
詳しくは各支所へお問い合わせください。

福岡支所

TEL 092-431-8113

FAX 092-431-8355

南九州事務所

TEL 0986-62-0006

FAX 0986-62-0193

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ デイリーアップ74

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- ベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現

